

大分教育事務所訪問 21

津久見市立千怒小学校から学ぶ

学校の教育目標「家庭や地域と連携し、未来に向かって、力強く今を生きる千怒っ子」を育成するために、めざす子ども像を「挑戦する子」「ぬくもりのある子」「行動する子」と定め、育成を目指す資質・能力を「自主性」「協調性」「課題解決能力」として組織的に取り組んでいます。

学校経営から学ぶ

めざす子ども像(ち・ぬ・こ)のそれぞれの具体的な姿を明記しているため、子ども達や教職員だけでなく、保護者や地域の方もイメージしやすいので、常に意識させることで協働的な取り組みが推進されるでしょう。

4点セットは6月に中間評価を行い、それぞれの項目について1学期中に行う内容や改善点を絞り込んでいます。今後は、それらの改善点の中で、取組指標が短期で検証ができそうなもの(例：プレートを活用した授業等)は期間を決めて(2週間程度)行い、達成すれば「目標達成」として廃止、または内容を焦点化して取り組むような「短期PDCAサイクル」を取り入れることで、取組指標の質が次第に高いものとなり、教職員だけでなく子ども達自身が成長を感じるようになるでしょう。

授業から学ぶ

多くの授業で、ペアによる学び合いが自然に行われる等、どの児童も学びに向かっています。特に3年生の体育では、明確な目標、授業の流れの見通しがあるので、子ども達が自ら行動し助け合っていました。

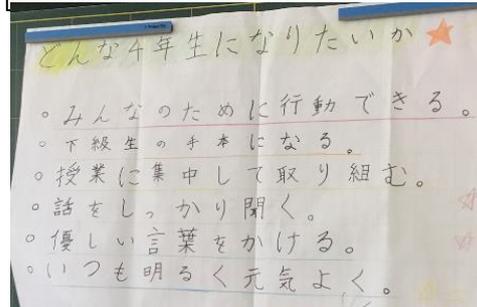
子どもの授業アンケートでは、教師の指導は高評価でしたが、自分が説明することが苦手な子どもが多いように見えました。今後は、教室を自由に動くような学び合いやタブレットを活用する等、全ての子どもが活動できる場を取り入れてはかがでしょうか。

指導案の「ふりかえり」では、子どもを主語にしたものが多く見られました。今後は「ふりかえり」で子どもがどのような事を書くのか、どの姿になったらいいのか等、教師が願う具体的な姿を明記することで、「めあて」との連動や評価規準が明確になり授業力が向上することでしょう。



NO.112 2021年6月 津久見市立千怒小学校

① 挑戦する
あきらめないうちは、失敗ではない。未成功だ。



NO.113 2021年6月 津久見市立千怒小学校

② ぬくもり
やさしく聞いてくれる人がいるから、安心して説明ができる。



NO.114 2021年6月 津久見市立千怒小学校

③ 行動する
素早く行動するから、1時間で多くのことが学べる。